新型コ 口 ナ ウィ ルスに <u>つ</u>

理

事長

由

ます。 ってい 持ち込んでは 染者が出ると忽ち 面 は .私たち外部からコロナウィルスを 中国 会も儘ならなくなっています。 コロナウ 半年以上施設訪問出来なくなり、 障害者支援施設利用者の て、 武漢市を 世界中に感染拡大して イ ル けな ス肺炎が猛威を振る 集団 震源地」とする新 [感染するから 人でも感 家族 特 動

細 訴 えることが出来ない カゝ 知的障害者 注意が必要です。 0 多くは自分で症状 0) このような

> 者 発 行 自 一般社団法人 5 全国知的障害者施設家族会連合会 \mathcal{O} 理事長 岐 由 诱 危 集 編 険 全施連広報部会 ŧ 住 所 顧 4 〒650-0016 ず 働 **☎**078−371−3930

> > 利益が大きな

時 期 深く 感謝 していた ま

数は

一八だっ

天 九 八四

ま

で減

<u>の</u>

途

をたどり

会等の立 きて なけ 況にあると思いますが、 道・県連支部に ことで、 いるの ŧ 家族に会うこと い れ 開 ない ばと焦るばかり 店休業状態 事 業を中・ では、 利用 暗 ない 者は 中 お 模 止 かと心 索が です。 スト も外 いても会議 せざるを得 で、 出 続 V 、スが溜っ 全施 いく なにかをし 配 Ł ごです。 なにもで 7 で きな い 連 な の活 い状 ま 研 ま 修 各 す

玉 が 潰 し てきた公衆衛

危 が 大 阻 は、 機に 口 止 新 0 \mathcal{O} 型 瀕しています。 最 てきたということです。 \supset 一衆衛生を対 前 口 線 ナウィルスの で あ る地 軽 視し 今 回 域 てきたツ \mathcal{O} 感染拡 [の感染拡 保 健 所 が 大

報告

で、

障害者虐待防

法

要

件を

事

件

0)

検証委員会は、

五.

育の中間

間

神戸市中央区橘通 3-4-1 神戸市立総合福祉センター内 きく転 が 玉 それ \mathcal{O} 換 医 心たの 療や

支 援 たが らされているのが実態です。 公衆衛生は軽視され、 フトされました。 九 んや循環器病、 生活習慣病へと重点が移った結果 保健所の数は減 八九年の $\overline{\overline{\bigcirc}}$ まで柱にしてきた感染症 一八年には四 保健 所 少 糖尿病などへとシ

障 害者支援施 設 の文化

指導 届きました。 もあるという内容の投書が事務局 師 に報告すると回 先日、 が利用者を虐待しており、 神奈川! 調 Ü しなけれ 査中とのことで、 全施 、県が設置した「やまゆり 県、 ば大問題となる可能性 連 [答がありました。 加 市に問 入施設で女性看護 後日全施 V · 合わ 早急に せ 園 連 る

えました。

健

康に関する政

策が

は、

九

八〇年代

カ

か

です。 な存在」 化を、 きことは何なのか。 ています。 (毎日新聞 適切な対応があったと指摘してさ には古参職員の利用者 慈しみながら共に育って欲し 指摘し合う。このようなお互 いが助け合う。 虐待事件は何故あとを絶たな 植 松死刑囚 事業者や施設職員 家族と一体となって利用者を 」と考えるようになった背景 が 言いにくいことでも 重度障害者は 職員同士がお互 への暴力、不 〇月九日 家族がす いも · 様 文 V) 不 × \mathcal{O} 要

す。 やすいものですが、 変えていくのだと考えます。 と権利意識を自覚することが社会を もらっている」という負い目を感じ 者を中にしてお互いに議論すべ の立場であることを確認して、 そのためには家族と事業者は 重度障害者やその家族は 「人質論 克服 利用 みて 対

自助 共 鱽 公助」 ح は

公助」 \mathcal{O} |最高責任者の菅首| 相 が

室施

錠

を長期間

行っ

た等が

指

摘

4

みたさず

身

/体拘

,東や、

兀

時 0

間

 \mathcal{O} 居

今ことを白状するに等しいもので、 和言えるのは重度の限言ネッター: 一怒りを覚えます。 障害者に なく、「安心して生きるための支えを 言えるのは重度の障害者を知らない は最後の到達点であり、 まずは自 支えを受けずに生きること」では 言葉の遊びであり、こんなことを 祉 の後退です。 「自助」 助 を掲げることに を優先させること 障害者の 自助・ 重度の 自立とは 自 知的 私 助 社

命 拒 否

ります。 た法律 を唱える研究が排除される恐れ 障害福祉の分野でも、 菅首相が拒否した問題は、 なことになります。 由を侵害し、 本学術会議」が新会員として推薦 ば つか来た道 このようなことが罷り 歴史学者ら六人の任命を 社会全体を委縮させ (戦争) 国の政策に に戻る危険 別機関 学問の自 通れ があ 異. 日

第障害福祉に関わる私たちに身近な問号 これは遠い雲の上の話ではなく、 は 遠 い雲の上 0 話で しはなく、

題として 捉える必 要が あ り ま

0=0 年 度 第 口 理 催

果、 会を六月二十九日に書 ため、 することが決定致しまた。 賛成二十、反対 開 開 成十六、反対四 日 常任 ました。 催を見合わせておりましたが、 催については未定です。 コロナ禍の中、 新 第一・二・三・四・六号議 型コ 理 委員会をオンラインにて開催 事会は・ 口 社員総会の書面 ナウイルス感 Ŏ, 六月十五日、 社員総会後も会議 となりました。 第 五号議案= 面 にて開 染拡大 理事会の 採決の結 社員総 == 賛 案 | 催 $\overline{\mathcal{O}}$ 近 致

ました。

が、

原因不明のクラスターが発生し

高 口 知県あじさい園保 ーナ 禍 本 の中で 純 護者会長 氏

たが、 あり入所させて早くも二十 口 娘 ナが 当初は毎週帰宅をさせ が養護学校卒業 最近 発生して以来、 は月に 5 後、 一回に減り、 親の都合も 帰 ていまし -数年が過 宅自 粛 غ

かり

っますが、

全幅の信頼のもと施

は せんでしたが、 なってい 総合的に判断していました。 しっかり対策がとられていました 隔離入院がまだ確定していません もし、 施設では、 も対応に困 ・ます。 帰宅後 コロナ発生の予防 ります。 施設に一任すべきと 3 口 ナに感染したら 知的 障 措置 宇者

中の幸いでした。 以上の拡大が阻 して、陽性の利用者全員が県立 への入院・治療が可能となり、 施設は、 すぐに県関係 正 できたことは 部 局 と協 不幸 病院 定 議

姿勢の とが ろからの職員さんの努力(対策) たと聞き、 くの方々からの激励の ぼり旗を立てて激励されているこ また誹謗中傷も無く、 大切な家族に会えない寂しさや 新聞報道にもありました。 賜 面会したいという気持ちは 物だと思っています。 県内の方からも 電 監等が届り 県内外 頏 張 勤 日ご \mathcal{O} れ 務 多 \mathcal{O}

> 後に、 としての家族の役目だと思います。 して副作用がないことを確認された 先ずは国会・県議会議員に優先接種 る職員の方々に少しでも煩われ もできるような報道がありますが、 適用してほしいと切に願っています いをさせないことが、声なき応援団 に託すことだと思い 人数で利用者の支援に当たって 最近、 基礎疾患を多く持つ障害者に コロナワクチンがすぐにで ますし、 最低 い

熊本市 で請願 巡項目 採 択 !

大臣に提出していただきました。 ただき、地方自治法に則り、 ほ 熊 か十名の意見書を提出 会に四項目を請願 本 県 連 は、 九 月二十. 九日 公明党議員 関係 可決 熊 本 市

編 集 後 記

ています。 状等紹介してい コ 情 口 報の提供を是非お願い ー ナ 禍 広報で道県連の活動 の中、 きたいと思い 会合等が 制 、ます。 限され ます。 0 現